

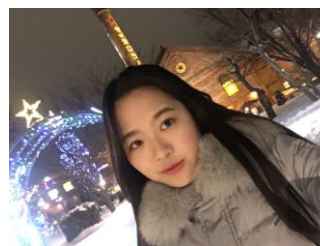
# 北海道短期研修日記

2016年1月16日（土）

私にとって、初めての北海道なので、すごくワクワクしています。早朝5時に空港まで行って飛行機に乗るのも始めてだし、卒論の答弁も終わったばかりですぐ研修に行くとはさすがに疲れました。だけど、なんだか北海道に来て、そんな大雪を見るのも初めてで、急に札幌の雪化粧に癒されました。本当に綺麗ですもの。また、わざわざ出迎えに来てくださった方とご飯を一緒に食べたり、色々教えてくれたり、たくさんの方の手配してくれたりして、私から見て、親切すぎて本当に感動しました。それはオリエンテーションの時も、サッポロビール園で食事をしている時も、今日最後の見送りの時も、みんなからは本当に熱い歓迎をいただきました。本当に楽しくて嬉しくてたまらなかったです。特にこれからホームステイをさせていただく椿先生と話して、尊敬するようになりました。それより椿先生の私を娘として招待したいというぐらいの親切さに、驚きも感動も感じました。椿先生だけではなく、一緒に食事をしていた社長さんや部長さんたちもとても素晴らしい方らしくて、色々話してくれて嬉しいです。これからの二週間を充実した生活、楽しい思い出にして欲しいという皆さんの期待にお応えできるように頑張っていきたいと思います。



札幌ラーメン



サッポロビール園にて

2016年1月17日（日）

今日の日程もすごく充実していました。ホテルから出発して、定山溪温泉を通過して、まずは中山峠というところに止まりました。そこから、遠く「北海道富士山」が見えました。そして、美味しい揚げ芋もいただきました。途中、たくさんのスキー場を見て、佐藤代表と吉田さんといっぱいお話ができました。佐藤代表は十代、二十代の頃はサッカーやっていたんですけど、三十代の頃からスキーをやって、世界のたくさんのスキー場を滑ったことがあります。でも、スキーをやり始めたのは小学校からだと言いました。それはなぜかという、スキーは小学校の体育授業に入っているからです。なので、北海道の人、大体小学校からスキーを学んだと言えますね。それはびっくりしすぎます。好奇心に惹かれて、スキー場の頂上から滑ると、どんなぐらい時間かかりますかと聞いたら、一分間もかからないという答えにさすがに初心者の私はショックだわ。



雪化粧の洞爺湖

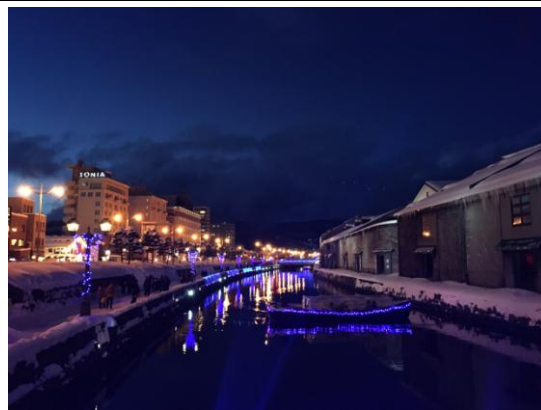
改めて出発して、洞爺湖にやってきました。そこは本当に絶景と言えます。杭州の西湖にも負けないぐらいに綺麗でした。洞爺湖展望台の近くのショップで売っている北海道産ヨーグルトはすごい濃くて美味しかったです。もうちょっとしていたら、佐藤代表が計画を立てたホテルに着きました。高級なホテルでした。そこで、贅沢な可愛いデザートをいただきながら、綺麗な洞爺湖景色も満喫できてすごい嬉しかったです。洞爺湖の次はニセコスキー場の JOJO' s というお店ででかいハンバーガーをいただいて、すごいお腹いっぱいになりました。さらに、小樽に行く途中、吉田さんのお宅に寄って、お菓子とお茶もご馳走になりました。日本人はそんないっぱい食べれるのと思っていながら、なんかこの一日中、食べ過ぎた気もしました。



今日の最後は小樽運河の夜景を見て、小樽オルゴール堂と北一硝子店を回りました。綺麗

麗でロマンチックでした、さすがラブレターの撮影地、町にほんとに愛の香りがしています。

一日一面雪の世界に酔って疲れたので、帰り道でちょっと休もうかなと思ったんですけど、せっかくの夜景を見逃したくないので頑張りました。寝てなくてよかったです。札幌の夜景、忘れたくないですね。



佐藤代表

吉田社長

小樽運河

### 2016年1月18日（月）

研修の初日としては、全体的に難しく感じたのは、顔と名前を覚えることとたくさんの情報を整理することです。SATO 社会保険労務士事務所に着くのは8時10分ぐらいで、金子さんと鈴木さんがちょっとスケジュールのことを紹介したり、館内を案内したりしてから、私と周さんを連れて会社の全国朝礼に参加しました。それは初日というのも原因ですし、テレビに向かって自己紹介するのも始めてなので、一番緊張しました。でも、なんか新鮮で面白かったです。

また、阿部さんや山鹿さんなどの方々に色々教えてもらったり、平さんと一緒に外勤に行ったりして、いっぱいお勉強になりましたが、一番印象的だったのは佐藤代表の話でした。「大学を卒業する前はエスカレーターに乗っている状態としたら、社会に出た後は階

段に登る状態だと言えます。その違いは自分で人生を決められるかどうかにあるのです。社会人になってから、やっと自分の人生を決められるようになったのに、ほとんどの人は決められない。ということは単なる自分に対する裏切りにすぎない。」という話にすごい共感できて、私も自分の将来についてあまりきちんと考えずに行動する時が多いので、自分もそういう裏切りをしているだろうと反省しました。これからはちゃんと自分の人生設計をしなければならないですね。

でも、佐藤代表の話を聴いて、1つ分かったことがあります。自分が将来どんな人になりたいかというと、綺麗なお婆さんになりたいということです。勿論この綺麗というのは外見のことを指しているわけではなく、心の綺麗さを指しています。そんな話をしている、自分の人生を語っている佐藤代表は、今年で63歳になるのに、なんだかすごいカッコよくて輝いているように見えてくるのです。それで、私は思ったのです。将来、綺麗なお婆さんになろうと。

キレイになるにはそれなりの努力をしないとだめですね。ちゃんと夢を持って頑張っている姿はやはり誰から見ても一番素敵ですよ。佐藤代表が言っていることに似ていますが、私も私なりのモットーを持っています。「自分でも惚れてしまう自分になろう」ということです。人間というのはよく昔のことを懐かしみ、昔の思い出がどうしてもよく見えてくるものだと思います。その原因のもとに辿り着くと、今の状況と比べて、昔の自分をもっとよかったかなと思っているからではないかなと私はそう思います。なので、昔のことがよく見えてきた時点で、もう今の自分が好きではなくなっているにイコールではないでかなと思います。

自分でも好きな自分になれば、嬉しいし、達成感もありますから、いつもそういられるといいですね。



2016年1月19日(火)



町の夜景

今日は昨日の SATO 社会保険会社と同じ講座を聞いたり、外勤に行ったりするかなと思

いましたけど、全く違うことをやっていて、とても疲れましたが、初めの食品作業をしたので、新鮮で面白かったです。

まずは今日作ったかりんとうはどういう食べ物なのかについて、笠原さんから詳しく説明してくださって本当に勉強になりました。次に、池田食品会社が有名な会社としてやはり日本の多くの食品産業と同じ、朝礼や衛生などについてきちんとやっていることに改めて感心しました。2年前ぐらいに日本のお寿司屋さんでアルバイトしていた頃が思い出されてすごい懐かしいし、疲れているのに頑張り続けているのも久しぶりですし、とても充実していました。

さらに、今日作ったかりんとうを報告させていただきます。三角かりんとう、うずまきかりんとう、蜂蜜かりんとうと鬼造りがありました。その中で、うずまきかりんとうは中国の表現で表すと、「猫の耳」になるので、その後ろの中日文化の差異については急に興味を持つようになりました。また、すごい気になる「鬼造り」というかりんとうの名前について、ちょっとなんでその名前を付けたのですかと聞いたかったけど、あまり時間がなくて残念でした。

最後に、今日一日にお世話になっていた牛木さんと色々教えてくれた朝倉さんには本当にありがとうございます。一日かりんとうを包装して疲れましたが、そのかりんとうを見てすごい達成感も感じました。

## 2016年1月20日（水）

昨日の作業と比べて、今日の研修は随分楽でした。

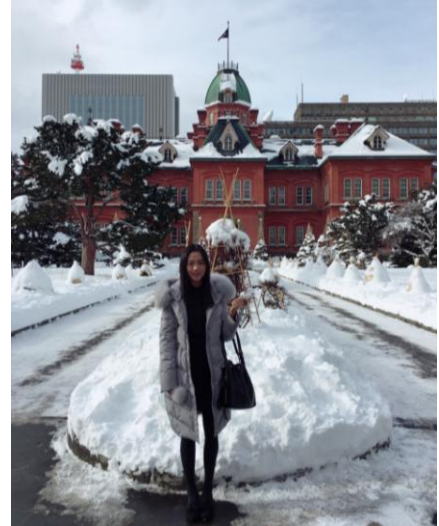
朝着いて、水田課長と共に、朝礼に参加し、簡単に自己紹介をしました。今日まで何回も自己紹介をしたんですけど、何百人の前でやはり緊張しますね。

朝礼の後、各部門の朝礼で、少し休みました。その後、井本課長のもとで、キャリアバンクという人材派遣会社概要を拝聴しました。始めてこのキャリアバンク株式会社の名前を聞いた人だったら、この会社は銀行会社だと勘違いするかもしれませんが、井本課長の紹介を聴いて、さすがに人材の銀行だと言えると感心しました。ある程度の人脈がない以上、この仕事ができないわけです。お勉強になりました。

次は、新谷専務に、キャリアバンクと提携を結んでいるジョブカフェ、ジョブサロン、ステップ札幌市生活就労支援センターまで、連れて行っていただき、途中赤レンガ庁舎も通って、とても楽しかったです。ずっとオフィスにいるよりもちょっとだけ運動しました。



赤レンガ庁舎（夜）



赤レンガ庁舎（昼）

昼食は札幌市内を一望できるロンドンというレストランでしました。景色はすごい綺麗でしたし、グラタンも美味しかったです。また、水田課長にちょっとだけ食事のマナーを教えてくださいました。浙江大学で大学院を卒業して北海道で博士学位まで取った江先輩にもたくさんの教をいただき、すごい参考になりました。

食事する時も、午後の海外事業部に関する説明会の時も、中国人をたくさん呼び寄せて日本で働かせたいという話をしました。それについて、ぜひ今回の研修を通して、うちの大学とも短期インターンシップの契約を結びたいと思いました。

さらに、キャリアバンク営業部の担当者に、たくさんの情報をいただき、売り場の現場まで見学させていただき、キャリアバンクについて、随分詳しくなりました。

最後に、札幌 JR 駅の近くにあるお土産の売り場を見学し、白い恋人のドリンクをご馳走になって、会社に戻ってから酒井秘書と一緒にスター・ウォーズという映画を見に行きました。もともとの設定は酒井さんと佐藤代表と 4 人だったんですが、佐藤代表が用事のせいで来れなくて残念でしたが、映画の後、一緒に食事しながら、この二、三日に思ったことなどについて話できて、すごく楽しかったです。



スター・ウォーズ



札幌スープカレー

2016年1月21日(木)

今日一日雪の世界に楽しんでいました。今朝起きるのが早かったので、もしかしたら途中眠くて寝てしまうかなと思いましたが、全然そういうのがなくて、すごく綺麗な山道でずっとワクワクしていました。







札幌盤溪スキー場



今日の研修はまず堤さんにリフトの方へ連れて行っていただいて、そこでリフトの整理とリフトの管理室でスピードの調整などを教わりました。昔、長野県のあるスキー場でスキーをしていた時にもリフトに乗ってたんですけど、今回改めてスキー場のリフトのところを見て、新しいこと3点が分かりました。

①リフトのところに信号があって、赤になると立ち入り禁止、青になると、安全に進めること。

②リフトの入口のところに時計が置いてあるのはスタッフさんがお客様の搭乗券を検札しながら、時間が切れたかどうかを確認するためだということ。

③前のお客様がリフトに乗った時にうっかりストックなどを落とした場合、後ろのお客様に持っていただいてから、到着するリフトのスタッフさんに連絡を取って問題を解決すること。

リフトのところの色々を見るだけで勉強になりました。

次に、子供のスキー場所に回ったり、専務がたくさんのことを教えてくださったりして、お昼ご飯の後、レンタルの受付の仕事を体験させていただきました。靴の選び方や履き方、スキー板、ポールと靴の合わせ方、ストックの選び方、それに、返却の時、お客様にレンタルされた物の置くところまで、全部教えていただいて、本当に新鮮で面白かったです。私みたいに中国南の出身の人は、あまり雪が降らないためスキーできる人はめったにないので、なんか今度友達と一緒にスキーに行く時は、今日学んだことは自慢として、友達に教えたくくなりました。

また、レンタルの受付をやっている、やはりお客様の視点とスタッフとしての視点は違うなとも思いました。今日一日スタッフとしての視点から色々見て回りましたが、明日はお客様というか、スキーする人の視点から見る世界を楽しみにしています。

さらに、今回は冬に来たので、井上専務から夏はGreen Season イベントをやっていると聞いて、次回は夏に来れるといいですね。

#### **2016年1月22日（金）**

今日また札幌ばんけいスキー場で、冬季レク体験学習し続けるので、人生始めてスキーをする周さんは昨日一晩緊張でよく眠れなかったらしく、今朝もスキー場を見るだけで苦しいと言っていました。周さんの顔を見て、なんか昔長野県で始めてスキーをしていた自分の気持ちに似たような気がしました。同情もし、面白くも感じました。スキー経験のある私と経験ゼロの周さんは着替えて、わくい先生に連れられてスキーの登ると滑る練習を始めました。周さんはすごい印象的だったかもしれませんが、私は久しぶりのスキーでしたが、すぐ慣れました。割と周さんのぎゃぎゃ騒いでた声が印象的でした。

練習の後はリフトで頂上に行って滑る学習です。それは今日の目標です。頂上から順調に下に滑れるようにという。初めてのスキーではないけど、改めて勉強できたことがありました。目線はいつも滑りたいところに向くということといつもスキー板で三角を作ることです。三角を作るのが失敗したら、転ぶことにイコールなわけですから。残念なのはスキー一時間しかできなかったことです。本当はSを作って滑りたかったですけど、また最初からまともに勉強できたのも悪くないですね。



また、今日スキー体験以外は、わくい先生と井上専務と一緒にばんけい苑で焼肉をいただきました。ばんけい苑の食事は美味しかったけど、一番特色なのは、料理を小さい汽車で運ぶことです。面白かったです。食事する間は、スキー以外もわくい先生と恋の話もできました。わくい先生はコーチとして世界各国から来た外国人の方と接して、恋の話も好きらしくて、色々な変わった話を聞いて、楽しかったです。



さらに、札幌ばんけいスキー場は場内に中国語版の看板も設けたいため、私と周さんは中国人の方がもっと便利にスキー場を利用できるように、微小な力を注ぎました。

2日間本当に素晴らしい体験になりました。

**2016年1月23日（土）**

今日、真駒内駅に着いたのは朝10時ぐらいでした。

そこに椿武愛子先生が迎えに来てくださいました。すぐ研修するホテルに向かうかなと思ったんですけど、ホテルに行く途中、昔冬季オリンピックが行われた会場と有名な八剣山を通りました。

今日の研修は、椿先生が指導している定山溪温泉ホテル瑞苑という長い歴史を持っている温泉ホテルで、そこで働いている中国の方たちと一緒にホテルの接客マナーや接客用語などを勉強することでした。



昔の冬季オリンピック会場



心の里定山

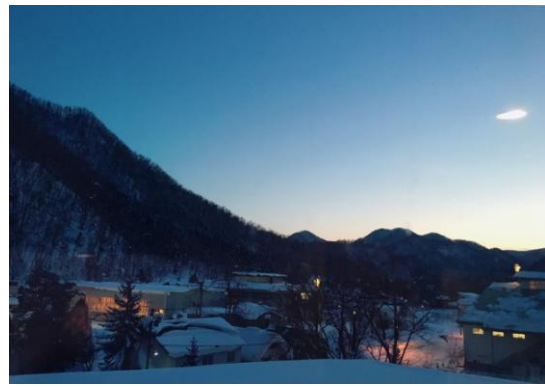
研修してたホテルはちょうど今日泊まる予定のホテルだから、研修の後には直接チェックインしたかったけど、チェックイン時間は午後3時からなので、空いている間は定山溪の辺りにあるホテルを観光し、有名な定山溪まんじゅうを食べて、心の里定山というすごい心が落ち着けるような足湯もできるところにも行きました。この後、ポロピリカコタンに行きました。ポロピリカコタンは北海道先住民族アイヌ族に関する物を紹介する博物館です。この博物館を観光する間は、ちょっとだけアイヌ語も勉強しました。また、北海道全道の地域の名前は全部アイヌ語で表示されて、今の漢字はただの当て字だということも知らされました。さらに、今のアイヌ族の人はいますが、もう完全に日本人になっていて、アイヌ語も話せなくなったと聞きました。

アイヌ族についてお勉強してから、近くの温泉ホテルで少しそばでも食べました。次に

チェックインにホテルに戻りました。椿先生は仕事で、私と周さんはちょっと自由時間を与えられ、それぞれ1階の温泉に入って、6時半ぐらいにみんなで和式レストランで集合し、懐石料理をいただきました。その時に、椿先生にたくさんの和食マナーを教えていただいて、お箸の割り方は横にしてから割ることとか、食べ終わった物はシートから外すこととか、茶碗蒸しの蓋の開け方は3つのステップがあることとか、本当にお勉強になりました。また、食事の途中、佐藤代表とその奥様が会いに来てくださって、本当に楽しくもありがたくも思っています。



室内温泉



定山溪温泉ホテル瑞苑



懐石料理



佐藤代表の奥様

佐藤代表

今日は週末で遊びの日とも言えますが、というより、すごい勉強ができた日でもあります。

2016年1月24日（日）



椿武愛子先生のお宅

今日は本番のホームステイになりました。

昨日の食事の時と二次会の時に、お酒いっぱい飲んでいたせいで少し気分悪かったが、朝一起きて、朝ごはんとしてお粥を食べたおかげで少し助かりました。

チェックアウトしてからは、私と周さんはそれぞれホームステイの体験が始まりました。私は椿先生のお宅で、周さんは嶋田さんのお宅でした。

椿先生のお宅に着いて始めて出会ったのはラブちゃんでした。最初、椿先生から「うちにはワンちゃんがいるの」と聞いて、ちょっと怖かったけど、実際に会ったら、なんかラブちゃんがすごいナイスで、しっぽも振っていて、可愛かったです。

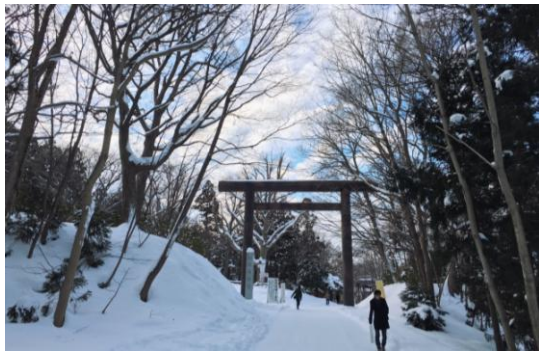
ラブちゃん



そこで、椿先生が中国のハルピンに生まれた話も、若い頃に北京オリンピックの頃にまだ仕事で北京やハルピンに指導しに行った話も、椿先生の息子さんたちの中国との繋がり話も、いっぱい話ができてすごい椿先生のことを尊敬するようになりました。

ちょっと二人共二日酔いなので、一時間ぐらい仮眠をとりました。ラブちゃんも一緒に寝たり、写真を撮ったりして仲良くしていました。

午後に行ったのは北海道神宮でした。椿先生も仕事で初詣の頃、スペインに行ったため、私と同じ祈りをして、去年とお守りを替えて、新しいお守りをいっぱい買いました。また、前に京都で留学していた際に、勉強した手洗い方、祈り方とみくじする方法を改めて詳しく意味深く椿先生に教わって、前よりもっと理解しやすくなりました。



北海道神宮にて

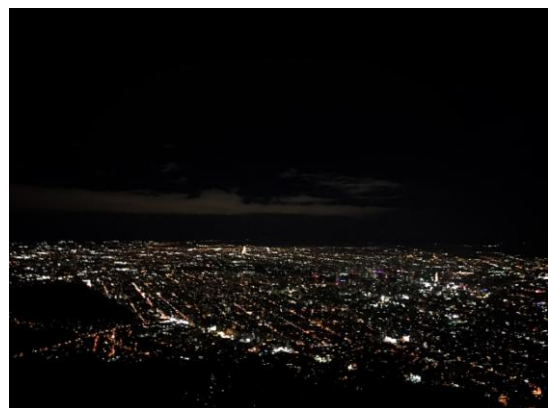
椿先生が私を息子さんに紹介したいから、神宮の祈りが終わった後、早めにお宅に戻りました。

夜は、嶋田さんと周さんと藻岩山ロープウェイ頂上のレストランで打ち合わせしているから、そこまで、まだ時間が残っていて、椿先生のお宅の庭を散歩して、昔らしい小屋の中を案内してくださって、50年ぐらい前の羽子板をプレゼントされて、嬉しかったです。また、ずっと私に自分の和服を着て欲しい椿先生は、50年前の自分の成人式に着た着物を着せていただいて、いっぱい写真も撮って、忘れがたい思い出になりました。



着物姿

同じ忘れがたいのは藻岩山の夜景でした。日本新三大夜景の1つ、札幌でした。本当にとんでもない綺麗さでした。そこで、美味しい物を食べて、嶋田さんとその奥様、椿先生とその息子さん、周さんと私、六人で歓談しました。周さんと私以外のみんなはちょっと年を取ったているから、よくする話もちろん私と周さんの世代とは違いますが、つまらないよりは以外と面白かったです。やはり彼らと話すると、本当に生活の知恵も知識も見習えますねと思いました。



日本新三大夜景一札幌夜景

今日も素晴らしい人と出会って、素晴らしい一日を送りました。



2016年1月25日（月）

よりによって、北海道今年冬季に入ってから今まで一番寒い日に、私と周さんは旭山に行きました。朝一、天気予報で旭山-20度でした。そんな凍りそうになる日に、一日外で寒さと戦いました。JRで旭山に着いたのは午前中、乗り換えのバスに無事に乗れるように、中国人ばかり並んでいる長い行列に並びましたけど、どこの出身の中国人か分らないが、横から割り込まれて、本当にマナーが悪かったと思います。中国人のマナーが良いことは動物園にもたくさんありました。恥ずかしいと思いました。



旭山動物園にて

でも、全体的として、とりあえず寒いです。一番可愛かったのはペンギンの散歩でした。生まれたばかりのペンギンさんの体は成人のペンギンと一緒に驚きました。一番面白かったのはテナガザルの家庭の中で、雄の方が子育てすることです。一番ワクワクしたの

は北極熊とアザラシです。中国の南、暖かいから、滅多に見られない動物でした。

北海道で一番有名な動物園は旭山動物園ではなく、札幌の円山動物園だと聞いたが、なぜ、観光客は円山動物園より、旭山動物園を選ぶのか、原因はずっと分からないけど、今日実際に行ってみたら、多分旭山動物園の一番独特なところ、動物とすごい近く接することができる場所に惹かれたのではないかなと思いました。そこが一番新鮮で楽しかったと私的にはそう思っています。

### 2016年1月26日（火）

今日の研修先は札幌通運株式会社でした。今までの研修先で一番集合時間が遅かったとも言え、だいぶ疲れたことを思ってください、朝 11 時集合ということで本当にありがとうございます。

着いてから、大澤さんが会社概要を紹介し、館内も案内してくださいました。その後、昼食をして、札幌通運のいくつかの倉庫を回って、ついでに白い恋人パークまでも連れて行っていただきました。夜は日中経済友好協会主催の新年交流会がありますので、大澤さんにそこまで送っていただきたいと協会の吉田さんに頼まれたから、余った間は、私と周さんをスキーワールドカップのジャンプ台とすすきの（札幌の歌舞伎町みたいなどころ）へ観光に連れて行っていただいて、楽しい研修にもなりました。



白い恋人パーク

夜の新年交流会はノホテル札幌というところで行われました。そこで、私と周さんはスピーチ大会の時にパフォーマンスしたスピーチを再現する予定になっているので、完璧に準備時間がなくて、とても緊張して前回よりあまりよくできなくて観衆の皆さんに申し訳ない気分になっていましたが、皆さんに色々元気づけられて少し気が晴れました。

また、中国駐札幌領事館の外交官にも、二人の笑顔はとても素敵で、中国人として日本に対して、あるべきの笑顔でしたと褒められて、なんか認められて嬉しかったです。

ホテルに戻って、今思い返すと、今までの研修は本当に私を成長させた다고改めて確信しました。

### 2016年1月27日（水）

今日、研修に行くのはサッポロドラッグストアという有名な薬局本社でした。

実は、昨日の新年交流会で出会えたサッポロドラッグストアの社長、富山さんは、とても私と周さんのことを気に入って、サッポロドラッグストアで働いて欲しいとおっしゃいましたが、私と周さんは慌てていて明確な返信ができなかったです。

今日の研修を通して、サッポロドラッグストアの発展歴史や、他の典型的な日本スーパーマーケットや今時のショッピングセンターなどとの違いについてはだいぶ分かりました。また、最後に行ってきたサッポロドラッグストアの免税店で、本物の中国人の爆買いを生で見られました。本当に恐ろしい中国人だなと思うぐらい驚きました。一方、サッポロドラッグストアで働いている中国語と日本語両方もできる方々を見て、なんか彼らを尊敬するようになりました。いつか彼らみたいになれるといいねと思いました。さらに、夜の自由時間に周さんとお買い物する際、たまたま札幌駅のサッポロドラッグストア支店で、免税するのがきっかけで卒業してすぐサッポロドラッグストアに就いた中国の方と、この会社で働いている感想や経験などを話しました。少し懂れるようになりました。

今日もたくさん拝見できて有意義な一日になりました。またサッポロドラッグストアに働くかどうかを考えておきたいと思います。

### 2016年1月28日（木）

今日は研修の最後の日でしたが、最後だからこそ、なんか北海道にまた来たいとも思いました。一層ここで働こうとも思いました。なぜなら、午前中株式会社財界札幌に研修に行って舟本副会長の話に参加されたからです。舟本副会長は北海道の開拓歴史や北海道の風林水菜について詳しく説明してくださいました。また、将来の展望についても、温暖化のせいで、海水面が上昇し、赤道近くの国が海に埋められ、北極圏の氷山が溶け、通航に

なったら、北極圏は世界の中心になる可能性があります。北極圏に属する北海道は大きなビジネスチャンスに直面するかも知れないと舟本副会長がいました。その話は面白かったし、すごく私は惹かれてました。最後に、舟本副会長が言った言葉は「ぜひ北海道が大好きになってください」でした。最初は北海道寒いし、本州からも離れているしと思った私はなんだか、少しずつ北海道のことが好きになりましたね。



『さっぽろ財界』に載せてあるスピーチコンテストに関する記事

また舟本副会長の話を考えているうちに、最後の研修先、ベーカリティジャパン税理士法人に着きました。そこで名越さんの他、香港出身の周さんにも出会ってたくさん話できました。特に、香港出身の周さんが、四川成都からチベットまで自転車で行く旅の話は面白かったです。それは日本の九州から北海道まで自転車で行くのと同じだとも吉田さんに聞きました。このことをした人は卒業した暇な大学生と仕事を辞めるほどそうしたい人しかいないと周さんが言っていました。それはどの国の人から見ても同じでしょうと吉田さんは共感しました。

ベーカリティジャパンでの研修の後、来道初日のオリエンテーションの場所、キャリアバンクに戻って報告会をしなければならないので、ちょっとホテルで休みを取って、すぐそこへ向かいました。前の二三日の間、暇を見つけて書いた研修レポートをそこで読みました。また、そこで、たくさんの人からこれからの人生計画や人生の知恵やアドバイスなどをいただき、本当に感謝しています。

短い二週間弱の研修、私はなんだか本当に北海道が大好きになりました。

## 研修レポート

この二週間の中で、一番印象的だったのはやはり研修の初日の佐藤代表のお話でした。「大学を卒業する前はエスカレーターに乗っている状態としたら、社会に出た後は階段に登る状態だと言えます。その違いは自分が人生を決められるかどうかにあるのです。社会人になってから、やっと自分の人生を決められるようになったのに、ほとんどの人は決められない。ということは単なる自分に対する裏切りにすぎない。」という話がありました。その話にすごく共感できて、そう考えていると、自分も裏切りをしているんだなと思いました。一方、佐藤代表のように若いうちに自分の目標を持って、ちゃんと夢を叶えた人にをすごく尊敬しています。本当に素晴らしいと思います。私も進学したいと言っているけど、大学院に入って何を勉強したいというのも心に決めていないままなので、それはただ現実から逃げているのではないかなと自分でも疑っています。やはり今年6月で卒業する私にしては、今後の進路についてきちんと考えなければなりません。

でも、この二週間を通して、私は大きな目標を立てました。それは自分が将来どんな人になりたいかということ、キレイなお婆さんになりたいということです。勿論このキレイというのは外見のことを指しているわけではなくて、心のキレイさを指しています。心のキレイさとは何かというと、やはりいつも夢を持つこと、いつも頑張っていること。それができたからこそ、今年で63歳になる佐藤代表が自分の人生を語っている姿はすごく格好よくて輝いているように見えてきたのです。それから、70歳の椿先生だって仕事にいつも緊張感を持って頑張っているからこそ、50代に見えてくるのではないかなと思います。

キレイになろうとしたら、それなりの努力をしなければなりません。女性の化粧品に譬えれば、知識は化粧水みたいに基礎のスキンケアに経験の乳液、ある程度の人脈はファンデーションとしたら、貴重なチャンスと出会いはチーク、リップのように化粧に色を添えます。この度の研修は思いがけずチーク、リップのように私のメイクをもっとキレイにしてくれました。でも、そういう貴重なチャンスは所詮メイクだから、落とさなければなりません。つまり、いつか終わりが来るのです。なので、それを経験の乳液を活かし、自分の元の肌をキレイにすることはできるでしょう。

佐藤代表が言っていることに似ていますが、私も私なりのモットーを持っています。それは何かというと、「自分でも惚れてしまう自分になろう」ということです。人間というのは昔のことを懐かしみ、昔の思い出がどうしてもよく見えてくるものなので、それは今の状態と比べて、昔の自分の方が格好よかったり、幸せだったりしていたかなと思っているからだと思います。昔のことがよく見えた時点で、もう今の自分が好きではなくなっていることにイコールではないかなと思います。ですから、いつも自分が好きなままでいられることは大事なんだなと思います。

また、今回、椿先生のお宅でホームステイもさせていただいて本当に嬉しいです。日本

人のお宅でホームステイするのは初めてなので、色々と椿先生に迷惑をかけてしまったり、怒られたりするのかなと思いましたが、全然そういうのがなくて、すごく暖かい思い出を作ってくださいました。本当に感謝しております。椿先生の家に行った間、椿先生についての取材を拝見したり、椿先生のいままでの人生を聞いたりして、なんか椿先生の人生が周りの人々に恵まれているみたいだなと思うし、逆に自分のいままでの人生を思い返すと、私も椿先生と同じように、色々な人々にお世話になったり、助けられたりしていたという感じで、すごくありがたい気持ちになりました。でも、大事なのは、この恵みの後ろに存在する努力している姿なのです。人はいいように見えても、後ろで泣いている姿もあるのです。私と周さんだって、外側から見て、幸せで贅沢な北海道の旅をしているようだが、実際は疲れて寝不足な面も秘められています。椿先生がここまでになられたのも、泣いて頑張っただけだからなのでしょう。一日だけのホームステイなのに、椿先生は本当に私の憧れになりました。それだけではなく、椿先生は私のお婆さんみたいな存在にもなりました。それはなぜかというと、私のお婆さんは私が生まれる前になくなって、私はずっとお婆さんがいないまま生きてきて、お婆さんに一度も可愛がってもらったことがなかったからです。椿先生は昔の自分の話を語ってくれたり、自分の自慢なの器を見せてくれたり、食事をする時や日本人の家に邪魔する時などのマナー、作法一つ一つ教えてくれたりして、自分の成人式に着ていた着物までも着せていただき写真を撮っていただきまして、「あ！お婆さんがいるというのはそういう感じなんだな」と思いました。他人からは普通の婆さんに見えるかもしれませんが、私の目には椿先生がすごくキレイに映ったのです。本当にありがたく存じます。

最後に、いまさら堅苦しいと思われるかもしれませんが、本当に短い間でしたが、二週間間の研修をさせていただき、心より感謝しております。私たちが心配している以上に心配して下さった方々にも、色々行き届いた手配をして下さった方々にも、たくさん美味しい日本料理をご馳走して下さった方々にも、たくさんの知識・知恵を教えてくださいました方々にも、あちこち連れて下さった方々にも、すごいすごいと褒めて下さった方々にも、本当に大感謝です。皆さんのおかげで、スケジュールがびっしり入っている隙に、息ができてまた頑張り続けられたのです。皆さんのおかげで、疲れているけど、すごい充実感、達成感のある思い出になりました。

最後の最後は、ずっと二週間、私に同伴してくれた周さんにありがとうと言いたいです。周さんとは同じクラスなのに、周さんは三年生、私は二年生の時、日本に留学しに行って、二人はすれ違って、結局、一年生と四年生の時しか一緒にいられないです。だから、大学の末頃にまたそのような偶然の機会と一緒に日本で研修することができて、本当にもうこれから周さんもそうだし、今回出会った人もそうだし、大学の友達も皆もそうだし、今後会うこともないかもしれないが、今の時間を大事にしないって感じです。皆さんがたく

さんして下さったことにも感謝ですが、その感謝の他、この私のわがままというか、未熟であろうが、話の子供っぽさであろうが、それを許してくれるのも感謝です。なので、本当に様々な面でお世話になりました。ありがとうございます。また皆さんにお会いすることを期待しています。

浙江工商大学 黄晨晨

2016年1月28日